

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【公開番号】特開2017-114959(P2017-114959A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-249371(P2015-249371)

【国際特許分類】

C 08 G	18/80	(2006.01)
C 08 G	18/73	(2006.01)
C 08 G	18/48	(2006.01)
C 08 G	18/79	(2006.01)
C 08 G	18/72	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 D	7/40	(2018.01)

【F I】

C 08 G	18/80	
C 08 G	18/73	Z
C 08 G	18/48	Z
C 08 G	18/79	A
C 08 G	18/72	Z
C 09 D	201/00	
C 09 D	7/12	

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月21日(2018.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

脂肪族ジイソシアネート及び脂環族ジイソシアネートからなる群より選択される1種又は2種以上のジイソシアネートから得られるポリイソシアネートと、下記式(1)で表されるポリアルキレンオキサイドと、活性水素を分子内に1個以上有するブロック剤と、から得られる、ブロックポリイソシアネート組成物であって、

前記ブロックポリイソシアネート組成物の総量に対して、全てのイソシアネート基が前記ブロック剤でブロックされている3量体の濃度が25質量%以上50質量%以下であり、かつ、全てのイソシアネート基が前記ブロック剤でブロックされている2量体の濃度が1.0質量%以上20質量%以下である、ブロックポリイソシアネート組成物。

【化1】



(式(1)中、R<sub>1</sub>は、炭素数3~10の炭化水素基を示し、R<sub>2</sub>は、炭素数1~10の炭化水素基を示す。)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0009】

すなわち、本発明は以下の構成を有する。

## [1]

脂肪族ジイソシアネート及び脂環族ジイソシアネートからなる群より選択される1種又は2種以上のジイソシアネートから得られるポリイソシアネートと、下記式(1)で表されるポリアルキレンオキサイドと、活性水素を分子内に1個以上有するブロック剤と、から得られる、ブロックポリイソシアネート組成物であって、

前記ブロックポリイソシアネート組成物の総量に対して、全てのイソシアネート基が前記ブロック剤でブロックされている3量体の濃度が25質量%以上50質量%以下であり、かつ、全てのイソシアネート基が前記ブロック剤でブロックされている2量体の濃度が1.0質量%以上20質量%以下である、ブロックポリイソシアネート組成物。

## 【化1】



(式(1)中、R<sub>1</sub>は、炭素数3～10の炭化水素基を示し、R<sub>2</sub>は、炭素数1～10の炭化水素基を示す。)

## [2]

前記ポリアルキレンオキサイドの数平均分子量が、300以上2000以下である、[1]に記載のブロックポリイソシアネート組成物。

## [3]

式(1)中のR<sub>1</sub>は、プロピレン基を示す、[1]又は[2]に記載のブロックポリイソシアネート組成物。

## [4]

前記ジイソシアネートは、少なくともヘキサメチレンジイソシアネートを含む、[1]～[3]のいずれかに記載のブロックポリイソシアネート組成物。

## [5]

前記ブロック剤は、少なくとも3,5-ジメチルピラゾールを含む、[1]～[4]のいずれかに記載のブロックポリイソシアネート組成物。

## [6]

少なくとも[1]～[5]のいずれかに記載のブロックポリイソシアネート組成物を含む、硬化性組成物。

## [7]

被着体と、該被着体を被覆する[6]に記載の硬化性組成物を硬化させた硬化物と、を備える、物品。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0012

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0012】

## 〔ブロックポリイソシアネート組成物〕

本実施形態のブロックポリイソシアネート組成物は、脂肪族ジイソシアネート及び脂環族ジイソシアネートからなる群より選択される1種又は2種以上のジイソシアネートから得られるポリイソシアネートと、下記式(1)で表されるポarialキレンオキサイドと、活性水素を分子内に1個以上有するブロック剤と、から得られる。

## 【化2】



式(1)中、R<sub>1</sub>は、炭素数3～10の炭化水素基を示し、R<sub>2</sub>は、炭素数1～10の炭化

水素基を示す。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

<ポリアルキレンオキサイド>

本実施形態のポリアルキレンオキサイドは、下記式(1)で表されるものである。これは、例えば、モノアルコールの水酸基に炭素数3～10のアルキレンオキサイドが付加重合し、水酸基を1つ有する重合体としたものである。

【化3】



式(1)中、 $\text{R}_1$ は、炭素数3～10の炭化水素基を示し、 $\text{R}_2$ は、炭素数1～10の炭化水素基を示す。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0111

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0111】

表2中、「PPG(1)」は、モノアルコールにプロピレンオキサイドが付加した、分子量600の重合モノアルコール(旭硝子株式会社の商品名「プレミノールSX1060」)を示し、「PPG(2)」は、ブタノールにプロピレンオキサイドが付加した、分子量340の重合モノアルコール(三洋化成株式会社の商品名「ニューポールLB-65」)を示し、「2EH」は、2エチルヘキサノール(非重合モノオール)を示し、「Pz」は、3,5-ジメチルピラゾールを示し、「DPM」は、ジプロピレングリコールモノメチルエーテルを示し、「M濃度」は、ブロックポリイソシアネート中のポリアルキレンオキサイド単位質量濃度(%)(( )内の数値は、非重合モノオール単位質量濃度(%)である。)を示し、「T濃度」は、すべてのイソシアネート基がブロック剤でブロックされている3量体の質量濃度(%)を示し、「U濃度」は、すべてのイソシアネート基がブロック剤でブロックされている2量体の質量濃度(%)を示し、「Aモル比」は、ブロックポリイソシアネート中のアロファネート/イソシアヌレートモル比(イソシアヌレート基をモル単位で100とした時のアロファネート基のモル数)を示し、「有効NCO濃度」は、有効イソシアネート基含有率(%)を示す。